

登録コード	E2150900	開講年度	2026				
授業科目	自然地理学				担当教員	廣内 大助	
英文授業名	Phyysical Geography				副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・1時限	対象学生	2～4年生
講義室	教育M402講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				信州を含めた日本の地形の成り立ちや、人々の暮らしと地形の関りを文化や災害を通じて理解できるようになる		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				地形の形成や地形と人間活動のかかわりについて理解を深める		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	本講義は原則として対面で行うが、一部はeALPSを使ったオンライン（オンデマンド）形式で行います。私たちの生活の足元にある平野や台地といった地形は、長い時間の中で、海面変化や気候変化などを経て形成されたものである。そして人々は昔から地形を上手に活用しながら生活を営んできた。本講義では、身のまわりに存在する様々な地形に注目し、その特徴や形成環境などについて詳しく述べる。また実際に地形図の読図や利用法などを、地形図や航空写真を用いた作業を通して習得し、それらの資料から読みとることのできる地形の特徴、村落立地や地域における人間活動の影響と自然環境の変遷などを考察する。またそれらに加えて、過去数万年間の地形形成史や環境変遷史、環境変化と人間活動との関わりについても解説する予定である。						
(5)授業計画	【授業の予定】 第1回：ガイダンス 第2回：地形図とその利用 第3回：地形を作る力 【遠隔授業】 第4回：川をつくる地形と人々の暮らし（扇状地） 第5回：川をつくる地形と人々の暮らし（自然堤防帯）【遠隔授業】 第6回：川をつくる地形と人々の暮らし（三角州） 第7回：低地の地形分類と水害予測 第8回：輪中集落と災害文化【遠隔授業】 第9回：河成段丘の形成と地殻変動 第10回：海をつくる地形 海岸地形とその変化【遠隔授業】 第11回：海成段丘と海岸平野 第12回：第四紀における氷河性海面変動 【遠隔授業】 第13回：第四紀後期における日本列島周辺の海面変化と地形変化 第14回：気候変化と文明の盛衰（授業アンケート） 第15回：定期試験						
(6)成績評価の方法	・不定期に実施する小課題によって、地形の成り立ちや人々の暮らしと地形の関わりなどについて時間ごとの理解度を検証する。この小課題(約2割)と期末試験(約8割)の合算によって評価を行う。小レポートの提出回数が少ない場合、期末試験を受験できないので注意すること。						
(7)成績評価の基準	授業で課す課題と同レベルの問題が解ければ可。応用問題が解ければ良。やや難しい応用問題が解ければ、優。課題だけでは難しい応用問題がとければ秀。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(8)事前事後学習の内容	授業内容や授業課題についての復習が必要となる。また各単元の事前学習についても毎回1時間程度は必要。授業時の指示に従いながら教科書や参考図書から行う。						
(9)履修上の注意	受講希望者は筆記具の他に、作業用のカラーペンか色鉛筆を数色用意すること。遅刻は極力しないように努めること。授業時の解説に応じた作図や小レポートを課す。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	相談は随時受け付けます（M419）						
【教科書】	最新地理図表Geo 第一学習社						
【参考文献】	気候が文明を変える 岩波科学ライブラリー 安田喜憲、平野と海岸を読む 岩波書店 貝塚爽平						